



# 月見ヶ丘こどもの家だより



2024. 1. 4  
園長 中江 祐

2024年という新しい年を神様の恵みの中、皆様とともに迎えることができますことを喜びたいと思います。保護者の皆様方におかれましては、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、1月1日には石川県能登半島を震源とする最大震度7の大地震が発生し、3日現在で死者が73人を超えるという甚大な被害をもたらしています。相次ぐ震度5レベルの余震、津波の発生、火災、そして土砂災害などによるライフラインの寸断など困難を極める状況の中で、懸命の救助活動が行われています。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、必要な方への一刻も早い救助を願っております。

また、翌2日には羽田空港に着陸した日本航空516便と滑走路にいた海上保安庁航空機が衝突して双方が炎上し、日本航空の乗員乗客379人は全員脱出したものの、海上保安機の5人の職員が死亡するという痛ましい事故が起きました。この信じがたい事故の原因は今後明らかにされていくと思われませんが、奇跡的に乗員乗客全員が炎上する旅客機から極めて短い時間(18分間)で全員脱出することに成功した背景には、乗務員の的確な指示と徹底した訓練など優れた危機管理体制があったからだと考えられます。海上保安庁航空機に乗務されていた職員の方々は、能登半島地震に対する支援を行うために新潟航空基地へ向かう予定だったとのこと、心が痛みます。海上保安庁の亡くなられた職員の方々のご冥福をお祈りいたします。

ところで、私たちの住む町は大丈夫でしょうか。新年早々から重苦しい話になりますが、「京都市地震ハザードマップ(西京区版)」によりますと、京都市西京区川島権田町に位置する月見ヶ丘こどもの家は、榎原～水尾断層に乗っかっています。「京都市第4次地震被害想定(概要版)」では「榎原～水尾断層地震」が発生した場合の想定は、「震度7」になる可能性がある危険地帯です。つまり、何らかの理由でこの榎原～水尾断層で地震が発生した場合は、能登半島地震と同レベルの被害が起こりうるということを肝に銘じておく必要があります。

こうした状況の中、厚生労働省では大規模災害が発生した場合の児童福祉施設の事業継続計画(BCP計画)の策定を努力義務化していることを踏まえ、私たちは現在「月見ヶ丘こどもの家事業継続計画(BCP計画)」の策定作業を進めているところです。概要が決まりましたら、保護者の皆様にもお示ししたいと考えております。

## < 行事予定 >

|                    |   |
|--------------------|---|
| 1/4(木) 保育始め        | 1/25(木) おべんとうの日<br>幼児組 園外保育<br>(八瀬野外保育センター) |
| 1/11(木) おもちつきごっこの日 |   |
| 1/18(木) 幼児組 お誕生会   |   |
|                    | 1/26(金) き組 保育参観 終了後<br>クラス懇談会及び組会           |

○1/26(金)に、『き組 保育参観・クラス懇談会及び組会』を行います。10:00～11:00頃 まで参観をさせていただき、その後クラス懇談会及び組会を行いたいと考えています。参観は 保護者の方2名まで、クラス懇談会は1名の参加とさせていただきます。また、長時間の取り組みとなりますので、小さいお子さんが参加するには適していないと考えます。参加の仕方をお考え いただきますよう、よろしくお願いいたします。詳しいお知らせは後日お配りします。

○しろ・もも・みどり組のクラス懇談会は書面にて送信させていただきます。その際は、またお知らせしますので、ご一読よろしくお願いいたします。